

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-72
補助事業名 平成22年度 公設工業試験研究所の設備拡充補助事業
補助事業者名 京都市

1 補助事業の概要

(1) 事業目的

機械工業において、地域の特性を活かした事業活動を展開し、中小機械工業の技術力の向上、事業基盤の強化を通じて新たな事業展開を行うため、試験研究機器を導入して設備の拡充強化を図り、機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

最近の試験分析研究機器を設置することにより、金属材料を中心とした各種機械工業材料及び工業製品等の素材開発、機能開発や品質向上を支援することが可能となる。

2 予想される事業実施効果

技術支援体制の一層の強化による機械金属製造業界の「品質」、「信頼性」等製造技術の高度化及び技術開発・新製品開発潜在能力の顕在化を進め、市内中小機械金属製造業の基盤技術力と研究開発能力の向上が図れる。

3 本事業により導入した設備

① グロー放電発光分析装置

(<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/analyser/a1/post-57.html>)

設置場所：【京都市産業技術研究所】

金属材料など固体試料について、試料表面でグロー放電プラズマを発生させ、試料元素特有の発光スペクトルを分光計測することにより、試料表面の元素分析を行う。また、放電によって試料がスパッタされるので試料の深さ方向の分析が可能である。



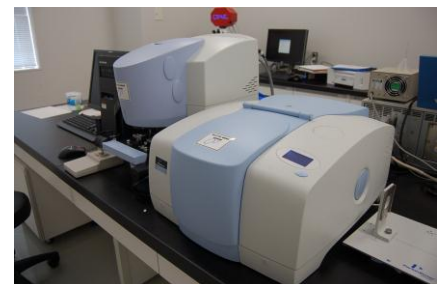
機器写真

② 高速FT-IRイメージングシステム

(<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/analyser/a1/ft-ir.html>)

設置場所：【京都市産業技術研究所】

高分子材料など工業材料の固体(粉末)試料・液体試料について、赤外線スペクトルを測定することによって、試料中の元素とその結合状態が分かり、試料の同定や定量分析が可能となる。



機器写真

③ 電気油圧サーボ式疲労試験機

(<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/analyser/d1/post-56.html>)

設置場所：【京都市産業技術研究所】

金属材料など各種工業材料，工業製品について，金属疲労に代表される繰り返し応力による疲労特性，耐寿命性の評価を行う。



機器写真

④ 試料自動研磨装置

(<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/analyser/d1/post-56.html>)

設置場所：【京都市産業技術研究所】

金属顕微鏡による金属材料の組織観察，めっき厚さ測定や電子顕微鏡による形状観察，元素分析を行うために必要な試料研磨を行う。



機器写真

⑤ 倒立型金属顕微鏡

(<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/analyser/a2/post-54.html>)

設置場所：【京都市産業技術研究所】

めっきや金属などの組織を観察するための顕微鏡で，倒立型金属顕微鏡本体部，デジタルカメラ部，制御解析部（ソフトウェア・パソコン）などを含むシステムである。



機器写真

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：京都市産業技術研究所（キョウトシサンギョウギ
ジュツケンキュウシヨ）

住所：600-8815

京都市下京区中堂寺粟田町91

代表者：所長 西本 清一（ニシモト セイイチ）

担当部署：材料技術グループ金属系材料チーム

（ザイリョウギジュツグループキンゾクケイザイリョウチーム）

担当者名：研究担当課長 菊内 康正（キクウチ ヤスマサ）

電話番号：075-326-6100（代）

F A X：075-326-6200

E-mail：m-kiku@kitc.city.kyoto.lg.jp

U R L：<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/>